

令和7年度 茨城県職員採用試験説明会

県立高校事務について

1. 自己紹介

○ 勤務経歴・担当業務

- ・県立波崎柳川高等学校
(2020年～2023年:4年間)
- ・担当業務
給与事務・歳出事務・歳入事務
・旅費事務・就学支援金事務

- ・県立神栖高等学校
(2024年～現在:2年目)
- ・担当業務
給与事務・歳入事務・旅費事務
就学支援金事務

2. 高校事務とは？

県立の高校に勤務する

学校教育法第37条14項には「事務職員は、事務をつかさどる」

学校の総務・財務をつかさどる専門の職員

基本は1校につき4名、学校の規模によっては3～7名と増減します。

2. 高校事務とは？ 主な業務内容

【歳入】

収入に関する業務

- ・授業料徴収
- ・生産物の売り払い
- ・証明書の発行手数料

【歳出】

支出に関する業務

- ・物品の購入
- ・設備の維持・修繕
- ・工事

【物品・財産管理】

備品や施設の管理

【給与・旅費】

職員の給与・旅費に関する業務

- ・手当の認定
- ・旅費の算出

【支援金・給付金】

生徒に対する修学支援

- ・就学支援金の認定
- ・奨学給付金の交付

【その他】

- ・図書
- ・窓口・電話対応
- ・公文書の收受
- ・学校行事の手伝い

3. 高校事務職員としてのやりがい

- ・行政的な立場で教育に携わることができる
 - ・施設を整備した際の、教育への貢献
 - ・教育の財源を支える
- 

4. 高校事務職員としての苦労、困難

- 生徒と保護者の家庭環境に応じた、柔軟な対応が必要

- 多種多様で幅広い業務

- 校内の諸問題への対応



5.採用1年目の苦勞

- ・仕事の相談をできる仲間がいなかった
 - ・法令・規則の理解
 - ・不慣れな電話対応
- 

6.先輩からの声

○ 良いところ

- ・学習環境を整えて、子どもたちの喜ぶ姿が見られる
- ・学校の行事予定に合わせて、休暇を取得しやすい(夏休み等)
- ・ほかの学校との横のつながりが深く、相談しやすい環境

○ 大変なところ

- ・見慣れない言葉・初めて聞く言葉が多い
- ・業務内容が幅広く、覚えることが多い

7. 県立学校事務ならではの研修

・高校教育課と事務職員研究会共催の研修

県立学校に勤務する若手職員中心の研修
3日にわたり、研究協議を行う



茨城県公立高等学校事務
職員研究会HP より抜粋

最後に・・・

目まぐるしい社会変化によって、事務職員もその変化に柔軟な対応が求められます。

私自身、勉強の毎日ですが、成長できていることを実感します。

高校事務職員に採用された際は、頼れる先輩がたくさんいるので、ご安心ください。

ご清聴ありがとうございました。

